

圭陵会FAXニュース

発行所:岩手医科大学圭陵会

第11号内容

発行人:石川 育成 編集人:酒井 明夫

・18年4月 開院へ始動 用地取得で調印式

連絡先:TEL019-624-8386 FAX019-624-8380

課題は事業費の確保 矢巾移転の岩手医大

e-mail :info@keiryokai.gr.jp

18年4月開院へ始動

矢巾移転の
岩手医大

用地取得で調印式

課題は事業費の確保



岩手医大付属病院の移転用地。2018年4月開業に向けて、移転事業が本格化した。矢巾町藤沢地区

岩手医大付属病院移転のスケジュール

2011年度	新付属病院、内丸メディカルセンター(MC)の基本計画策定
12年度	内丸MCの基本設計、ドクターヘリのヘリポート・格納庫完成
13年度	新付属病院の基本設計、内丸MCの実施設計
14年度	新付属病院の実施設計、内丸MC着工
15年度	新付属病院着工
17年度末	新付属病院、内丸MC完成
18年4月	新付属病院、内丸MC開院

岩手医大(大堀勉理事長)は27日、矢巾町藤沢地区の同大付属病院の移転先で用地取得の調印式を行い、移転に向けて本格的なスタートを切った。開院は2018年4月の予定。盛岡市内丸の現病院に併設する県高度救命救急センターと同市中央通1丁目の循環器医療センターも併せて移転する。内丸の跡地には外来中心の内丸メディカルセンター(仮称)を現歯学部棟の場所に新設する計画。同大は今後、事業費約450億円の確保と医師の増員を着実に進めることが課題になりそうだ。

調印式と移転事業起式には、関係者70人が出席。小川彰学長と宮田健一地権者会長、川村光朗矢巾町長が調印式を取り交わし、神事で工事の安全と成功を祈った。

移転地は同町西徳田の同大矢巾キャンパスに隣接する18万6千平方メートル。新付属病院は18年4月の開業を見込み、15年度に着工、17年度末に完成する予定だ。利便性向上のため、東北道・矢巾パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置する計画もある。

県高度救命救急センターと循環器医療センターも移転。県の救急搬送用ドクターヘリ導入に合わせて12年度までにヘリポートを同敷地内に完成させ、運用を始める。

同市内丸の現病院は17年度末で業務を終えるが、現歯学部棟を解体して外来中心の内丸メディカルセンターを新設。現循環器医療センターを病棟として活用する。14年度に着工し、17年度に完成する予定だ。現病院跡地は駐車場として活用することも検討している。

現在の病床数1166床の大半を新しい付属病院が受け持ち、一部を内丸メディカルセンターが担う予定だ。

今後の焦点は約450億円に上る事業費の確保。自己資金と寄付を充てるほか、国や県からの補助なども検討し、不足分は借り入れも行う予定という。

また、同大の現在の医師数(1日現在)は416人。医学部の定

員増と矢巾と盛岡の2カ所の診療に備えて、15年度までに106人増の523人にする方針だが、全国的な医師不足の中で着実な確保も課題だ。

小川学長は「念願の新病院開設に向けて大きな一歩を踏み出した。私学の病院ではあるが、県民のために一層の医療充実を目指していく」と話す。

http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20110128_1

圭陵会FAXニュース

圭陵会広報局では会員の相互理解を深めるために、岩手医科大学内の情報を`圭陵会FAXニュース`として配信致しております。圭陵会支部長におかれましては、圭陵会会員への情報連絡をお願いします。なお、圭陵会ホームページよりPDF形式でダウンロード頂けます。

■圭陵会ホームページアドレス <http://www.keiryokai.gr.jp>